

2016年度地域貢献活動計画

1. 地域貢献活動に関する本学の基本方針の確認

地域との連携による社会貢献及び地域交流等とおして、地域に根差し地域とともに歩む大学及び短期大学作りを進める。

2. 実施計画

- (1) 地域連携室を中心に組織的・計画的な地域貢献活動を展開する。
- (2) 地域貢献活動のノウハウの蓄積及び地域貢献活動に関する研究等を通して、新たな知の生成とその共有を促進するとともに、広報活動を展開する。
- (3) 地域貢献活動を通して、地域とのつながりを強める。
- (4) 重点活動の展開を中心に、地域貢献活動のカリキュラム化のモデルを生成する。
- (5) 女性活躍をキーワードとした創業、地域活性化を図るための基盤整備を行う。

3. 到達目標

(1) 2018年度までの目標

- ① 組織的・計画的な地域貢献活動が展開されている。
 - ✓ 地域貢献活動計画が有効に機能している。
 - ✓ 自主的な地域貢献活動が展開され、それぞれの目標が達成されている。
 - ✓ 必要な申請と実施報告がなされている。
- ② 地域連携室が学内外に周知され、安定的な業務が展開されている。
 - ✓ 教職員に地域連携室の位置づけや業務が理解され、活用されている。
 - ✓ 自治体・地域諸団体等が地域貢献活動の窓口を知っており、利用している。
 - ✓ 業務の進め方が明確になり、年度毎に改善を図ることができている。
 - ✓ 地域連携室スタッフの育成が行われている。

- ③ 知の生成と共有・情報発信が円滑に行われている。
 - ✓ 地域連携協議会，地域貢献活動交流会が定期的で開催され，成果を上げている。
 - ✓ 調査研究が計画的に実施されている。
 - ✓ 広報活動が有効である。
- ④ 重点施策が進展している。
 - ✓ COCプラスが当初の成果を得ている。
 - ✓ 子ども・子育て支援に関する地域貢献活動とカリキュラム化が進展している。
- ⑤ 女性活躍をキーワードとした創業，地域活性化に関する取り組みのアウトラインが完成している。

(2) 各年度の大まかな到達イメージ

- ① 2016年度
 - ✓ 地域貢献活動計画の申請から報告書作成までの実務を一通り実施して，経験を蓄積する。
 - ✓ 各種の事業を実施する。
 - ✓ 2018カリキュラム改定に対する調整を行う。
- ② 2017年度
 - ✓ 予算措置を伴う活動を展開する。
 - ✓ 私立大学改革総合支援事業タイプ2の必要事項をクリアし，申請を行っている。
- ③ 2018年度
 - ✓ 到達目標を目指して各種事業が展開されている。

4. 課題

地域連携室を中心に，下記の諸課題に取り組む。

A 組織的・計画的な地域貢献活動の展開と振り返りの促進

(1) 学内体勢の確立・整備

- (ア) 「地域連携室の運営に関する要項」に基づいて地域連携室の体勢と業務を確立する。
地域連携室室員会合を定期的で開催する。
- (イ) 地域連携室の運営管理を行う地域連携室運営協議会の運営を確立する。
地域連携室運営協議会を定期的で開催する。

(2) 個々の地域貢献活動の支援活動の開始

(ウ) 7月調査に加え、9月以降本年度中に新規にスタートする予定の地域貢献活動に関しては申請書の提出を求め、必要な調整を行い、学長決裁に結びつける。

地域貢献活動申請書説明会は2016年8月31日に実施したところであるが、次年度に向けて年度末にも実施する予定。

(エ) 終了した活動に関しては活動報告書の提出を求め、内容を精査し、学長に報告する。活動報告書はWeb掲載する。

また、支援の課題等を整理し、共有できるようにする。

B 知の生成と共有、広報・情報発信

(3) 専門的な技術、情報、知識、経験等の蓄積と教職員による共有の活動

(オ) 本学の地域貢献活動をデータベース化する。

(カ) 地域連携に関する教職員間の情報共有と意見交換の場として、地域連携協議会、地域貢献活動交流会を実施する。

(4) 調査研究の実施

(キ) 調査研究の課題整理、計画策定を行う。

(5) 広報

(ク) 地域連携室の立ち上げに関する広報を行う。

(ケ) 地域連携室及び地域貢献活動に関するWebデザイン、パンフレット作成などの基本戦略を検討する。

(コ) 可能などころからWebへの掲載、パンフレット作成、プレスリリースの活用を行う。

C 学内外のつながり

(6) 地域とのつながりの強化

(サ) 自治体、地域諸団体等との間に、連携協定を締結する。

(シ) 自治体、地域諸団体等との意見交換の場として地域懇談会を開催する。

(ス) 窓口業務を行い、業務手順等の確立を目指す。

D 重点活動の展開

(セ) COCプラスに関する諸活動を展開する。

「住むなら北九州市！応援団体」への登録完了後、取り組みの検討を開始する。

連携講義の具体化を進める。

(ソ) 子ども・子育て支援に関する諸活動に関する検討を行う。

調査研究をあわせて実施する。

(タ) 戸畑D街区の取り組みを進める。

(チ) 女性活躍をキーワードとした取り組みを検討する。

✓ 学生と一緒に次のような企画を立てていく。

コンセプト1 女性の活躍 女性の創業 共同参画

コンセプト2 地域活性化 人が輝く 生き生き、面白い

コンセプト3 つなぐ（学生と地域で活躍する方々を結びつける） かかわる PBL

以上